

地下壕第一電信室



ベンチや遊歩道などを整備したほか、音声による案内板を設置しました。



場所：鹿屋市串良町有里 4963-2
時間：年末年始を除く 9:00～16:00



旧海軍航空隊串良基地の関連部隊との連絡が行われていた地下壕で、特別攻撃隊員が突撃前に送る電信を受け取っていた場所としても知られています。戦時中、ここでは隊員たちが24時間3交替制のもと、その任務に当たっていました。地下壕内には受信機や送信機のほか、電話や発電機などが配備されていたとされています。2か所の出入口付近には、爆風をよけるための防御壁と土塁がそれぞれ設けられており、当時の空襲対策の一端を垣間見ることができます。

市内の戦争遺跡を 訪ねてみませんか

市内には今も多くの戦争遺跡が残されています。このたび市では戦後70年記念事業の一環として、市指定文化財の戦争遺跡2件（地下壕第一電信室、川東掩体壕）の周辺整備として駐車場や遊歩道、看板などを整備しました。今まで以上に見学がしやすくなりましたので、平和学習の場としてぜひご活用ください。

問 市ふるさとPR課（2階） ☎ 0994-31-1121

えんたいごう 川東掩体壕



掩体壕は、戦時中に航空機や物資などを敵の攻撃や爆風から守るために作られた施設です。土をコの字型に盛ったものからコンクリート製のものまで、たくさんの掩体壕が基地周辺に建設され、大人から子どもまで多くの人々が動員されました。

この川東掩体壕は、旧海軍航空隊笠野原基地で使用されていたものでは唯一現存するものです。アーチ状のコンクリートには玉石が混ぜられています。この掩体壕には零式艦上戦闘機（零戦）が入れられていたと言われています。



場所：鹿屋市川東町 8206-5